

分野	基礎分野 —人間と生活、社会の理解—	対象学年	1
		時期	前期
授業科目	コミュニケーション論 Communication Method	単位	1
		時間	30
		方法	講義・演習
担当教員	非常勤講師		
科目責任者			
授業概要	看護は人間関係を基盤にする。人間関係を作っていく上でコミュニケーションは重要である。社会人として身につけておかなければならない言葉遣いや立ち居振る舞いについて学ぶ。		
目標	社会人にふさわしい言葉遣いと立ち居振る舞いを身につける。		
評価方法	実技、終講試験		
使用テキスト	話しことばとコミュニケーション 日本話しことば協会 日本語検定中級テキストおよびステップアップ日本語講座（敬語について） 他、作成したプリント		
参考図書			
メッセージ	理解するだけでなく、学んだことを即実践してください。		

回数	単元・主題	授業のねらい	授業内容	方法	備考
1	コミュニケーションとは	コミュニケーションの概念について理解する	コミュニケーションとは コミュニケーションの定義と成立過程	講義	
2	コミュニケーションの手段	言語的コミュニケーションと非言語的コミュニケーションについて理解する	コミュニケーションの手段 言語的コミュニケーションと非言語的コミュニケーション	講義	
3	コミュニケーション役割と効用	コミュニケーション役割と効用について理解する	コミュニケーション役割と効用 コミュニケーションの目的、コミュニケーションのずれ	講義	
4	ことばとパーソナリティ	ことばとパーソナリティの関係について理解する	ことばとパーソナリティについて（心の自立・自己開示）	講義	
5	音声表現の技術①	音声表現の技術について理解する	音声表現の技術 ①発声と発音の基礎	講義	
6	音声表現の技術②	音声表現の技術について理解する	②発生と発音の実際	講義	
7	音声表現の技術③	音声表現の技術について理解する	③アナウンスの実際	講義	
8	聴く技術	聴く技術について理解する	傾聴（聴く技術）	講義	
9	話す技術	話す技術について理解する	話す技術	講義	
10	敬語の種類と働き	敬語の種類とその働きについて理解する	敬語の種類と働き	講義	
11	敬語の形式	敬語の使い方について理解する	敬語の形式	講義	
12	接遇の実際	接遇用語や接遇表現について理解する	接遇の実際、接遇の用語、待遇表現	講義	
13	スピーチの実際①	多くの人々の前で自分の主張や意見を述べることができる	スピーチの実際	講義	
14	スピーチの実際②	多くの人々の前で自分の主張や意見を述べることができる	スピーチの実際	講義	
15		講義の内容の理解度について確認する。	終講試験		

